

第16回 北海道農業機械 in Kamifurano レポート

いいもみつけた特別版



村井 信仁氏

七月一〇、一一日の二日間、スガノ農機・ホワイト農場（北海道・上富良野町）において、第一六回北海道農業機械フェア（主催・北海道土を考える会）が行われた。

「野菜王国の技術」というテーマのもと、先端技術を駆使した農業機械の実演、展示、試乗が行われた。併せて、相馬暁氏（道立中央農業試験場）による「野菜作と土壌管理」、三枝敏郎氏（財農林産業研究所）による「野菜作の線虫対策」の両講演会が行われた。実演会は、村井信仁氏（社）北海道農業機械工業会）の解説で進められ約五〇機種が紹介された。以下、村井氏の解説をもとにその中の六機種を紹介する。

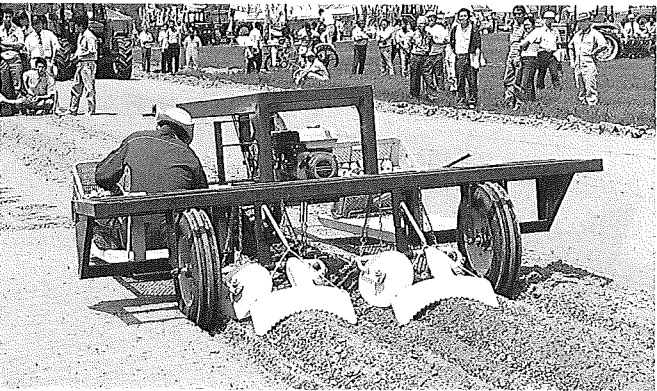


61 (耕幅可変) リバーシブルプラウ RQY173CS

61 リバーシブルプラウ「耕幅可変Qシリーズ」 RQY173CS

これまでのプラウは、耕起幅が一定で調節することはできなかった。この「Qシリーズ」は、フレームに工夫して耕起幅を可変式にしている。一四インチ、一六インチ、一八インチの三段階に振り替えられる。また、従来のものより軽量かつ強靱である。

例えば、トラクタが四連プラウ分のけん引力をそなえていても、ロアリンク持ち上げ力が三連分しかない場合、三連プ



62 長いもプランタ FND-90W

62 長いもプランタ (万能作業車) FND-90W

切片栽培のナガイモの移植を手作業でする場合、「持つ」「歩く」「かがむ」と作業者泣かせなところが多分にあった。移植機を使用するのは、それらを省力す

ラウまでしか使用することができない。しかし、この「Qシリーズ」は、一四インチ×三連のプラウ（二〇七cm）を、耕起幅を一八インチに振り替えるると一三七cmになり、一四インチ×四連のプラウ（二四二cm）に匹敵する耕起幅が得られる。標準価格一六七万八〇〇円。

スガノ農機(株) 茨城県稲敷郡 ☎ 二九八-八六-〇〇三

63 乗用カルチベータ (乗用畑作管理機)

乗用型田植機の原動機を畑作管理に利用したもの。ミッドマウント。けん引力にも比較的めぐまれている。そのため、作業機の抵抗で車輪がスリップし畦がずれる、ということも少ない。これまでになかった精密作業ができる。株間除草も可能である。

休場式と言われる株間除草スプリングタインを改良して取り付けている。ネジを緩めず角度・強さなどの調整ができる。これまで、農家の婦女子にとつてのつらい作業の代名詞であった株間除草も、本機の実用化で、かなり楽になると言える。標準価格一一八万円。

(有)エフ・ティ・エス 北海道旭川市 ☎ 〇一六六-一六五-七四六八

るだけでなく、植え付けと同時に均一に覆土、鎮圧するので、発芽がそろうメリットもある。

本機は、軽量化した、小型エンジンの自走式移植機である。圃場を踏み固めることも少なく、簡単な操作でだれにでも運転できる。ホイール式とクローラ式の二タイプ。クローラ式は、傾斜などへの対応力も高い。

ユリの根の植え付けや、枝豆などの収穫にも使用できる。また、運搬車としても活用できる。

標準価格七八万四〇〇円（クローラタイプ）。

福沢トラクタ(株)北海道加西郡 ☎ 〇一五五-六二-二八九七

64 大根掘取機

K・DH-100

大根の下に掘り上げ刃を入れ、振動を与えてけん引抵抗を少なくすると同時に、大根と土壌を分離して抜き取りやすくしている。浮き上がってきた大根の茎葉をスポンジベルトではさみ、斜めに搬送すると掘り取りができる。次の作業をしやすくするために、ベルトを延長して側方に運び地上に離す。

搬送はアイドルプリーリによる自動テンションなので、大根をはさむ強さが常に一定であり、大根の量が増減しても掘り取り、搬送のミスがない。深さ調整ローラがついているので掘り取り位置設定ができる。マルチカッターをベルトの前面に取り付けることもできる。

標準価格一三二万六〇〇円。

(株)クボタ 大阪市 〇六―六四八―二二五

65 ゴムクローラローラコンベア

アキャリア

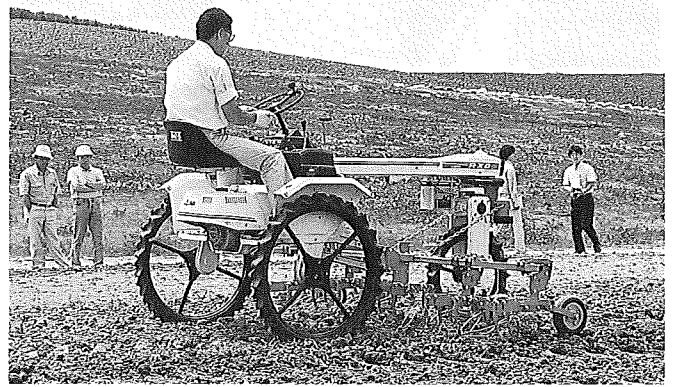
MKT250

モロオカのゴムクローラキャリアの荷台を改造し、両サイドにローラコンベアを装備したもの。降雨の中でも収穫しなければならぬ時など、ホイールトラクタの入らない軟弱路盤の圃場に入ることができ、重量物の運搬を難なくこなす。

トレッドは一二〇mmあるので二尺の畦をまたいで作業ができる。従来の運搬車より最低地上高を高くしているので、作物を傷めることも少ない。コンベアは両サイドにして、上方に折り畳める構造



65 ゴムクローラローラコンベアキャリアMKT250



63 乗用カルチベータ



66 枝豆さやもぎ機HYM-600



64 大根掘取機K・DH-100

にして、枕地での回行、路上運行を円満にする配慮をしている。収穫機と平行して走り、荷受けすることもできる。HST駆動なので作業速度は自在に選択できる。

(株)アトム農機 北海道上川郡 〇一六六―九二―四六六六

66 枝豆さやもぎ機

(枝豆ピッカ)

HYM-600

北海道では、軟葉菜豆を収穫するフレッチャーハーベスタを改良して枝豆収穫に適用させているが、近年品質基準が厳しくなり、新しい高精度の収穫法が要求されている。

同機は、手こぎの原理を機械にそのまま移したもので、ほとんど損傷を与えないことなく、さやをもぎ取ることができる。機体の左側にある二連のコンベアに枝ごと挟み、脱莢機で脱莢の後、選別部で選別される。さやはカゴの中に、枝は地面に放り出されていく。

同機は電動式のほかに、トラクタマウントのものがある。施設に運んで作業する方がよりフレッシュな状態でもぎ取ることができる。

標準価格一六二万六〇〇円(トラクタマウントタイプ)。

本田農機工業(株)北海道空知郡 〇一二一―四五一―二二二一

(注) 標準価格は地域によって価格が異なる場合がある。